

## メタボローム解析を用いた細胞癌化のメカニズムの解明

小柳津 智子

平成 26 年度の慶応義塾大学病院の麻酔科管理手術件数は 8870 件、その約 3 割が癌手術であった。麻酔科医として日常的に接する癌に、基礎医学の方面からアプローチしたいと考えた。

細胞の癌化には代謝が密接に関与している。例えば、癌細胞は正常の細胞と比較して解糖系が亢進しており、エネルギー産生の方法が異なっていることが知られている。

正常細胞が老化し、その後不死化するまでの代謝をメタボローム解析で詳細に観察することによって、細胞が癌化するきっかけを解明したいと考えている。  
(医化学教室との共同研究)